

様式第5（第10条関係）

高浜市ふるさと応援交付金実績報告書

令和8年5月8日

高浜市長 あて

所在地高浜市青木町四丁目2番地
35

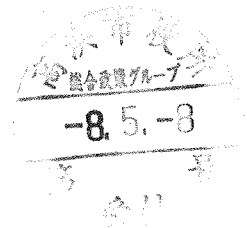
事業者 団体名 三州瓦鬼師応援隊
代表者名 山本 英輔

令和8年3月11日付け7高総政第123号で交付決定のあった令和7年度高浜市ふるさと応援交付金について、当該交付金の交付の対象となる事業年度が終了したので、高浜市ふるさと応援交付金交付要綱第10条の規定により、下記のとおり報告します。

なお、この報告書及び添付書類の内容については、必要に応じて高浜市ふるさと応援交付金交付要綱第11条の規定により公表されることを承諾します。

記

- 1 添付書類
 - (1) 事業報告書
 - (2) 収支決算書
 - (3) その他市長が必要と認める書類



(別紙6)

事業実績報告書

事業の実施期間	令和7年 4月 1日 (火) から 令和8年 3月 31日 (火) まで		
事業の実施回数	ランプシェードづくり	5回	1回あたり3時間
	シン・鬼みちまつり	1回	10月18日(1日)
事業の実施時間	ランプシェードづくり : 15時間 (※3時間×5回) シン・鬼みちまつり : 8時間		
事業の参加人数	ランプシェードづくり 提案者 1回あたり 2人 (合計10人) 一般参加者 1回あたり 40人 (合計200人) シン・鬼みちまつり 提案者 1回あたり 30人 一般参加者 1回あたり 7,000人		
事業の実施地域	ランプシェードづくり : 市内各小学校 シン・鬼みちまつり : 森前公園・かわら美術館図書館		
事業の対象者	高浜市民および市外の方		
事業の具体的内容	<p>「市民予算枠事業(協働推進型)提案書(実施計画書)事業概要書」に記載した、現状・課題の改善・克服・解決に向けて、どのような手段・方法をとったのかを具体的に記載してください。</p> <p>市の伝統産業であり、象徴でもある「瓦(鬼瓦)」の文化や技術を若い世代が学ぶ機会が少なくなっている昨今、専門の瓦職人(通称:「鬼師」)たちで、市内小学生に対し瓦製のランプシェードづくりの指導を行った。児童たちは、作品が完成するまでの過程で瓦の文化を直接肌で感じることで、地域産業の歴史に対する関心を高めるための一助となった。</p> <p>また、令和7年10月18日にかわら美術館・図書館にて、シン・鬼みちまつりを開催した。会場では、児童たちが完成させたランプシェードの展示を行い、鬼瓦に代表される高度な技術や文化をお祭りというツールを通じ、多くの方に見て、触って、知っていただくことができた。さらに、祭りの要素を盛り込むべく、キッチンカーやマルシェに協力してもらい、市内外の多くの方に市の地場産業の魅力を発信することができた。</p>		

<p>事業の 効果 (具体的に)</p>	<p>【事業の対象地域・対象者にとって】</p> <p>市内小学6年生が鬼師の指導のもと、ランプシェードを製作することで、瓦産業の伝統・文化・技術を肌で感じてもらうことができた。また、子供から大人まで幅広い世代が祭りに参加し、このイベントが地域の歴史を知るうえで、非常に意義深いイベントと認識してもらうことができた。</p> <p>【提案者にとって】</p> <p>学校、行政、商工会、かわら美術館図書館、地域の飲食店、企業など市内多くの団体と繋がりや、今後の高浜を住みやすく楽しい町にしていくきっかけを作ることができた。また、本事業を次世代に働きかけることで、瓦や鬼瓦の文化・技術・歴史を継承していく一助となった。</p> <p>【高浜市にとって】</p> <p>これまでかわら美術館図書館に来場したことがない方も、このお祭りに参加して、かわら美術館の企画展等に興味を持ち、高浜の文化や伝統を知ってもらうきっかけにつながった。</p>
------------------------------	---

<p>役割分担の 適切性</p>	<p>協働推進型の実施において、提案者と事業担当Gの間における役割・責任分担について良かった点、あるいは改善すべきと感じた点があれば記載してください。</p>	
<p>実施にあたっての問題点(苦情・トラブル等)や苦勞した点</p>	<p>【良かった点】</p> <p>過去2回の修正点を改善し、スタッフ一人一人が自身の役割を把握し、横の連携も密に図ることで、ランプシェードづくりやお祭りでは大きな問題もなく、円滑に事業を完成できた。</p>	<p>【改善すべき点】</p> <p>事業の効果をより高めるために、多くのスタッフが協力しながら、協賛金を集めるための仕組みづくりが必要である。</p>

<p>今後の方向性、具体的な方針・将来展望</p>	<p> <input type="checkbox"/> 拡大して継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 終了する </p> <p> 今後、この事業をどのように取り組んでいきたいかという方向性や、積み残し課題・改善点などがあれば記載してください。 </p> <p> 引き続き高浜のまちのシンボルである瓦（鬼瓦）を事業の中心に据え、イベントでは、高浜の「伝統」・「食」・「遊び」を市内外に発信していく必要がある。特に発信の手段としては積極的にSNS等を活用し、シン・鬼みちまつりの魅力をより多くの人に伝え、来場者の増加に限らず、多くの市民も楽しく携わることができるお祭りを目指していきたい。 </p>
<p>その他 特記事項</p>	

(別紙7)

収 支 決 算 書

(収入の部)

(単位：円)

区 分		計画額	決算(見込)額	差額	積 算 内 訳
市民予算枠事業交付金 ①		1,000,000	1,000,000	0	
よる 収入 事業に	参加者負担金	24,000	75,000	△51,000	マルシェ・キッチンカー出店料
	寄付金・協賛金	300,000	391,998	△91,998	ふるさと応援寄付金等
	計 ②	1,324,000	1,466,998	△142,998	
その他の収入 ③		8,730	0	8,730	繰越金
合 計 ④		1,332,730	1,466,998	△134,268	=①+②+③ (=⑦支出の合計)

(支出の部)

区 分		計画額	決算(見込)額	差額	積 算 内 訳
交付 対象 経費	報償費	820,000	597,200	222,800	焼成謝礼費 379,200 円 ※800 円*474 名 製作指導謝礼 168,000 円 ※8,000 円×21 コマ ポスター・チラシデザイン謝礼 50,000 円
	旅費	0	0	0	
	需用費	313,250	285,369	27,881	材料費：粘土代 271,700 円 ※小学生6年生対象 550 円/494 名 養生テープ・マジック・ ファイル等 550 円 救急箱 929 円 鬼瓦の振舞 12,190 円
	食糧費	34,000	35,569	△1,569	お茶代 20,569 円 (会議・当日) スタッフ弁当代(当日) 15,000 円 ※750 円×20 名

	印刷製本費	50,000	24,630	25,370	PRポスター・チラシ印刷費 24,630円
	役務費	0	0	0	
	使用料及び賃借料	60,480	47,090	13,390	会場使用料 かわら美術館・図書館 43,790円 森前公園 3,300円
	委託料	50,000	231,440	△181,440	鬼みちまつり会場設営 委託 231,440円 (テント・机・椅子・ 照明・音響など)
	備品購入費	0	0	0	
	その他の経費	5,000	8,050	△3,050	保険料 5,000円 碧南警察申請 2,500円 振込手数料 550円
	計 ⑤	1,332,730	1,229,348	103,382	
対象外経費	謝礼金	0	0	0	
	通信運搬・燃料費	0	60,000	△60,000	通信費 10,000×2 移動費 20,000×2
	委託料	0	177,650	△177,650	ミニ花火実施委託 177,650円
	計 ⑥	0	237,650	△237,650	⑥<②+③
	合計 ⑦	1,332,730	1,466,998	△134,268	=⑤+⑥ (=④収入の合計)



様式第3 (第7条関係)

高浜市ふるさと応援交付金交付決定通知書

7高総政第123号
令和8年3月11日

三州瓦鬼師応援隊
山本 英輔 様

高浜市長 杉浦 康憲 印



令和8年3月11日付けで交付申請のあった令和7年度高浜市ふるさと応援交付金については、高浜市ふるさと応援交付金交付要綱第7条の規定により、下記のとおり交付することに決定しましたので通知します。

記

1 交付額 300,000 円

2 交付条件

- (1) 高浜市ふるさと応援交付金交付要綱第4条 に規定する交付条件を遵守してください。
- (2) 当該交付金の交付の対象となる事業年度が終了したときは、高浜市ふるさと応援交付金交付要綱(以下「要綱」という。)第11条の規定により、速やかに高浜市ふるさと応援交付金実績報告書を提出してください。
- (3) この交付金の用途について不相当と認めるときは、交付決定した内容の全部若しくは一部を取り消し、又は既に交付した交付金の全部若しくは一部を返還していただく場合があります。